

いばらき

市議会だより

No.238

令和2年(2020年)8月



山間部(下音羽地区)から北東の星空を望む(撮影日6月7日)

目次

市長の施政方針に各会派が代表質問	2
市議会のうごき	5
一般会計補正予算質疑	8
6月定例会議決結果	12
可決された意見書	14
選挙管理委員会委員及び補充員決まる	14
5月臨時会議決結果	14
市議会における新型コロナウイルス感染症への対応について	15
全国市議会議長会表彰	15

6月定例会

令和2年第4回定例会を6月9日から26日までの18日間の会期で開催しました。

この定例会では、市長から施政方針の説明が行われ、これに対する各会派の代表質問を行うとともに、「令和2年度大阪府茨木市一般会計補正予算」などの議案、意見書等を審議しました。

編集 / 議会広報委員会 発行 / 茨木市議会
電話 (072) 620-1670 FAX (072) 623-7591
<http://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei/gikai/index.html>



スマートフォン等で読み取ることができます。

市長の施政方針に 各会派が代表質問

6月9日に市長の施政方針の説明が行われ、その際、市長の隣で手話通訳が実施されました。
6月10日、11日には、施政方針に対する各会派の代表質問を行い、主な内容は次のとおりです。

いばらぎ未来の会



稲葉 通宣〔質問者〕
安孫子浩子 友次 通憲

市民生活への支援は

問 新型コロナウイルス感染症に係る生活支援の一つとして、水道料金及び下水道等使用料と国民健康保険料を減額することなどが、これらの支援について、その規模をどのように決定したのか。

答 水道料金及び下水道等使用料の減額規模については、元の日常生活に戻っていく中で、一般家庭における負担軽減を念頭に設定した。国民健康保険料の減額規模については、保険料負担の軽減を目的として、令和2年度国民健康保険料率を前年度並みとなるよう、特例的に繰越金を充当して算出した。

送迎保育ステーションの設置を

問 通勤に便利な場所に送迎保育ステーションを設置することで、保護者の送迎の負担を軽くでき、また、遠方の保育所等でも利用可能となることから、入所希望の偏りを緩和できると考えるが、整備につ

ての考えは。また、阪急茨木市駅、JR茨木駅西口整備の際には、駅ナカ保育園や送迎保育ステーションの設置を検討してはどうか。

答 現在、ほとんどの施設で定員を超えた受け入れを行っていることから、今のところステーション設置の予定はないが、将来の各施設における受入状況の偏りも想定しつつ、利用者の利便性を踏まえた場所の選定も含め、設置について検討していく。



地域医療支援病院への支援は

問 新型コロナウイルス感染症の対策においては、医療機関が正常に機能することが重要である。今回、地域医療支援病院を支援する補助金を創設することだが、今

後の第2波、第3波への対策としてどのような支援が必要と考え、この補助金を創設したのか。

答 地域医療支援病院は、市内の医療体制の中核として新型コロナウイルス感染症や救急医療等への対応を担う病院であることから、運営経費を緊急支援することで、今後に備え、市内全体の医療体制の確保と維持を図ることを目的に補助金を創設した。

自由民主党・絆



福丸 孝之〔質問者〕
下野 巖 上田 光夫
上田 嘉夫 滝ノ上方記

北部地域における取り組みは

問 安威川ダム周辺整備について、本地域はハブ拠点として推進していく必要がある。北辰中学校跡地も含めた北部地域と市街地とのつながりの観点から、現状はどのように考えているのか。また、竜王山荘については、スポーツ施設としての制約があり、宿泊施設としての機能を十分に生かしていない状況にあるが、北部の魅力を考えれば、竜王山荘も計画に含めるべきではないか。

答 安威川ダム周辺地域は、地理的、交通的にも北部地域と市街地をつなぐ位置にあるため、その機能を高め、北部地域の情報発信等のハブ拠点として整備していく。また、竜王山荘については、北部地域唯一の宿泊施設であり、複合機能を備えたスポーツ施設であることを生かし、イベント等を実施しているが、今後のエリアマネジメントにおいても連携した取り組みを検討していく。



竜王山荘 (大字忍頂寺)

国や府を動かす行政運営を

問 新型コロナウイルスの出現により、地方自治体には従来の生活様式や価値観を改革する視点とともに、市民の暮らしに寄り添う視

点が必要であり、その役割は大きくなると考える。こうした中、従来のように国や府の決定に従うだけでなく、市から国や府を動かす積極的な行政運営が必要と考えるが、本市の考えはどうか。

答 新型コロナウイルス対策においては、国、府、市の役割が異なり、全国的・広域的な視点に立った感染症対策や経済対策が必要であることから、国、府の対策に軸足が置かれ、市は補完する関係であった。しかし、今後は、さまざまな主体に新しい生活様式が求められるため、市民に最も近い基礎自治体として、市民に寄り添った支援を推進していく。

駅前再整備の今後の進め方は

問 市民会館跡地エリア整備事業が動き出し、中心部の一方通行化も含め、阪急とJR両駅前の整備とも連携させた総合的な考えをまとめていると思うが、ハード面だけではなく、市民が利用するためのコミュニティデザインの観点も必要と考える。さまざまな市民を巻き込んで計画を進めることを望むが、今後の進め方についての市の考えはどうか。

答 駅前再整備に当たっては、コミュニティデザインの観点も

大切にしながら、市民の皆さまからいただいた意見等も踏まえ、利用される場づくりをめざした計画づくりを進めていく。



JR 茨木駅西口 (西駅前町)

Aterコロナに向けた市政運営は

問 市長は新型コロナウイルスを克服した将来の段階、いわゆるAterコロナにおいて、劇的な社会変化は生じないとの見解であるが、市長の姿勢として、先頭に立ってAterコロナの新しい社会を切り開いていくという積極性が必要と考える。市長の思いはどうか。

答 Aterコロナにおいては、従前から提唱されているSociety 5.0

(※1)の実現がより一層求められる。ネット通販を含め、ロボットや自動運転など、サイバー空間とフィジカル空間の融合による経済的發展と社会的課題の解決をめざす取り組みが加速するものと考えている。今後、あらゆる場面で、新しい生活様式や事業形態への転換が求められることが想定されることから、コロナだけでなく、これからの社会を切り開くという気概を持って、采配を振るっていく。

市民と触れ合う施策は

問 新型コロナウイルスの影響により、茨木フェスティバルやふるさとまつり等が中止となるなど、市長が市民と触れ合う機会が減少した。このような中、市民からの意見や思いに触れる施策について、どのように考えているのか。オンラインでの市長懇談なども企画する必要があるのではないか。

答 これまで多くの市民の皆さまに出会い、意見や思いに触れることで、市民目線に立った市政運営を心がけてきたが、WPCOコロナの状況下では、一定の制約がかかることは、やむを得ないと認識している。ICTを活用するなどの工夫

次頁へつづく

(※1) Society5.0: サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のこと。

前買つづき

は行つていくが、状況を見て、できる限り多くの市民の皆さまとお会いして、リアルな声に共感していきたいと考えている。

日本共産党



大嶺さやか〔質問者〕

朝田 充 畑中 剛

安威川ダム周辺整備の中止を

問 府は安威川ダム建設事業について、自然災害による被害の補修や、コア材採取量不足等のため事業費を140億円増額することになったが、こうした条件の場所がダム建設に適しているのか。このような場所での周辺整備は、訪れる方の安全確保という点からも中止すべきである。また、新型コロナウイルス対策に予算と時間を費やす必要がある中で、ダム周辺整備に予算と時間を費やす必要性はあるのか。

答 安威川ダムは、市民の生命と財産を守るために必要な施設であるので、今後も建設を促進していく。また、周辺整備についても、

北部地域の活性化を図るために必要な事業であると考えていることから、引き続き、取り組みを進めていく。



安威川ダム建設工事現場（大字大門寺）

救急病院の誘致展望は

問 国は公的・公立病院の統廃合や病床縮小の方向性を打ち出しており、三島医療圏でも、本市の市民がよく利用する病院が病床削減、統廃合の対象に上がっている。さらに、大阪府地域医療構想では、医療圏内の急性期病床を削減し、回復期への転換が検討されている。このような状況で、救急病院を誘致できる展望はあるのか。また、誘致について、今年度はどのように検討するのか。

議会Q&A

Q. 特別委員会とは何ですか？

A. 特別委員会とは、常任委員会と異なり、必要がある場合に議会の議決によって設置され、特定の事件を審査・調査します。

現在は下記の3つの特別委員会が設置されています。また、決算の際には、一般会計決算特別委員会が設置されます。

委員会名	所管事項
北部地域整備対策特別委員会	彩都、安威川ダム建設、新名神高速道路、その他北部地域の整備に係る問題
市街地整備対策特別委員会	駅前整備、大規模市街地開発に係る問題
市民会館跡地等整備対策特別委員会	市民会館跡地等整備、市民会館建て替えに係る問題

答 三島医療圏内で病床を増やすことは困難だが、圏内での移転は可能と考えており、救急医療や小児救急などの喫緊の課題解決に取り組む。また、将来における本市のあるべき医療体制を見据え、府の医療計画等との整合性を図りながら、今後、医師会や近隣の医療機関、保健所などの関係機関との協議を行い、基本整備構想を策定する。

今後のコロナ対策予算の編成は

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止の緊急事態宣言の発出

から解除までの間に、二度にわたり補正予算を議決してきた。第三弾となる今回のコロナ関連補正予算の内容については評価するが、コロナ対策はこれで終わりではなく、第二波、第三波への備えが必要である。刻々と変化する感染症との戦いにあわせて予算編成が必要であるが、本市の考えはどうか。

答 今回の補正予算では、回復準備期として、多様な主体の活動支援や事業者等の事業継続支援を計上したが、今後も、フェーズに応じた支援を届けることができるよう、適切な予算措置に努めていく。

大阪維新の会



萩原 佳 (質問者)
 大野 幾子 浜守 毅
 円藤こずえ 岩本 守
 長谷川 浩

家庭学習を十分に行える支援を

問 小中学校の学習支援について、タブレット等の機器の貸与だけでなく、設定から使い方まで丁寧にサポートする体制を整えるべきではないか。また、保護者や家庭の状況により、家庭学習を十分に行えない子どもへの支援を、定期的に丁寧に行うべきと考えるがどうか。

中学校給食の早期実施を

問 全員喫食での中学校給食の早期実現をめざし、センター方式で事業手法の検討を進めるとのことだが、早期実現といいながら、時間ばかり経っている。事業構築の見える化に努め、早急に取り組むべきと考えるが、中学校給食の全員喫食はいつからの実施を想定しているのか。

答 小中学校において家庭状況等により家庭学習を十分に行えない子どもへの支援については、学校再開後に、これまで家庭で十分学習できなかったところをフォローするとともに、オンライン授業やタブレットの操作方法等に慣れる授業を行う。

コロナ禍における避難所受入体制は

問 豪雨や台風等の自然災害が心配される時節に入り、コロナ禍を踏まえた避難所の運営においては、消毒液等の感染予防用品の拡充は当然であるが、災害時の避難人数を3万人と想定した避難所の数については不十分ではないか。3密防止のためにも指定避難所を増やす考えはないのか。また、地域による偏りもなくするため、早急な対応が必要ではないか。

答 コロナ禍における避難所の受入体制の確保については、運営の見直しや拡充に向け、施設管理者と協議等を進めており、国や府の指針等を参考に、受入体制の確保に努めていく。



こども医療費助成拡充の時期は

問 本年4月に行われた市長選挙の際に、福岡市長が示した50の力を入れた事項の一つに上げられていた18歳までの医療費無償化が、今回の予算に含まれていないのはなぜか。他市では既に実施されており、本市も予算に計上するべきと考えるが、予算化の予定と医療費無償化した場合に想定される予算額は

市議会のうごき

4月

- 9日 議会広報委員会
- 15日 幹事長会
茨木市議会災害対策会議
- 17日 議会基本条例検証会議

5月

- 1日 幹事長会
茨木市議会災害対策会議
議会運営委員会
- 8日 本会議
茨木市議会災害対策会議
- 20日 議会基本条例検証会議

6月

- 3日 幹事長会
茨木市議会災害対策会議
議会運営委員会
正副委員長会
- 9日 本会議 (初日)
- 10日 本会議 (2日目)
- 11日 本会議 (3日目)
- 12日 本会議 (4日目)
- 15日 本会議 (5日目)
- 16日 本会議 (6日目)
- 18日 民生常任委員会
建設常任委員会
- 19日 文教常任委員会
総務常任委員会
- 24日 幹事長会
議会運営委員会
- 26日 本会議 (最終日)

次頁へつづく

前頁つづき

どのくらいか。

答 18歳までの拡充については、今後、財源を確認しながら時期を検討していく。また、仮に18歳年度末まで拡充した場合、扶助費約1.3億円の負担増を見込んでいます。

公平な事業者支援を

問 広報誌で飲食店応援の記事が掲載されていたが、同様にSNS等でも毎日発信するべきではないか。また、商品の持ち帰り等に尽力している事業者はたくさんおられるにもかかわらず、広報誌で掲載されたお店はごく一部である。市内の事業者の中で、不公平な状況をなくす必要があると思うが、市の見



解と対応策はどうか。

答 新型コロナウイルス感染症による緊急時に有効な対策として、いち早く事業者支援の取り組みをしてくださった方々と連携し、スポットを当てるのが、市民、事業者の皆さまと行政が一丸となって取り組むという「#Eel茨木」の趣旨に合致すると考える。今後、さまざまな取り組みについても、幅広く適切なフォローを図り、行政としての役割、責務を果たすよう努めていく。

市民会館建設の延期・撤回を

問 現在のコロナ禍の状況においては、市民の生命、財産、安全・最優先課題であると考えます。その意味では、市民会館の建設は不要不急であり、建設は一旦延期、もしくは白紙撤回の決断をし、建設にかかるコストや職員の労力は、全て市民のために注力すべきではないか。

答 新施設を含む市民会館跡地エリアの整備については、中心市街地のまちづくりの視点も踏まえ、これまで対話を基本に、丁寧な議論を行いながら、市民の皆さまとともに進めてきたものであり、その思いに込められるよう、着実に事業を進めていく。

公明党

- 青木 順子 (質問者)
- 大村 卓司
- 河本 光宏
- 坂口 康博
- 松本 泰典
- 篠原 一代



中核市への移行検討を

問 地域保健医療の充実のため、保健所と保健医療センターの業務を一体化することで、市民サービスの質を高めることができると考える。保健所事務の市への移管についてどのように考えているのか。また、子どもや若者問題等においては、精神保健福祉に関する府の権限が移管されることで、市の取組強化につながるかと考える。これらのことから、中核市への移行を検討してはどうか。

答 保健所事務を市が担うことで、関連サービスを一元的に提供できることなどが挙げられるが、市内には府の保健所があり、市民の利便性が担保されているほか、各種取組における連携も取りやすいと考える。中核市への移行は、中核市制度に関する国の動向にも注視するほか、新型コロナウイルスに関する対応の検証なども行いながら、引き続き

き、市民サービス面と財政面の両面から研究していく。



大阪府茨木保健所 (大住町)

救急病院の誘致は

問 救急病院の誘致について、基本整備構想を策定するとのことだが、小児救急病院の不足等も課題になっている。市民の命を守る救急病院を誘致するに当たって、どのような課題があるのか。また、どのような特徴のある病院をいつまでに誘致するのか。

答 本市においては、救急医療や小児初期医療の提供体制の確保、充実が喫緊の課題であり、市域中央、南圏域に病院病床が少ない状況である。誘致する救急病院の特徴等については、これらの課題を踏まえつつ、将来における本市のあるべき



き医療体制を見据え、府の医療計画等との整合性を図りながら、医師会や近隣の医療機関などの関係機関と協議を行い、基本整備構想策定の中で具体的に示していく。

小中学校の体育館へエアコン設置を

問 小中学校の体育館は子どもたちの育ちの場であると同時に、地域の行事や災害時の避難所としての機能を果たしている。昨今の夏季における酷暑では、その機能を果たすことは厳しいと感じており、体育館へのエアコン設置は急務であると考えますが、市の考えはどうか。

答 小中学校の体育館へのエアコン設置については、災害時の避難所環境の改善、平時の教育環境等の改善など、必要性が高いものと認識しており、導入に向けて引き続き検討していく。

特別定額給付金の支給手続を円滑に

問 全世帯に1人当たり10万円が支給される特別定額給付金について、既に振込作業も始まっているが、現時点で何世帯、何%が申請をされ、現時点で申請している世帯には、いつ頃振り込まれるのか。また、手続きをさらにスピードアップすることはできないのか。

答 6月8日時点での申請状況は、10万6,974世帯、約84%が申請をされており、申請済の世帯主の皆さまには、7月中旬までに振り込む予定としている。給付のスピードについては、申請書類の入力や審査などの作業の効率化を図り、より早く給付できるよう取り組んでいく。

こども医療費助成の対象年齢拡充を

問 こども医療費助成については、経済格差が健康格差とならないように、順次取り組まれてきたが、子育てにおいては経済的な支援を望む声が一番多く、その観点からも18歳までの対象年齢の拡充を早期に実現されることを望むが、市はどのように考えているのか。

答 18歳までのこども医療費助成拡充については、早期実施が望まれていると認識しており、今後、

その財源を含め、実施時期を検討していく。

障がい者スポーツの振興を

問 本市には、障がい者スポーツの専用施設はないが、既存施設の更衣室、シャワー室、エレベーターの改修等のバリアフリー化を進め、障がい者スポーツ推進体制を整えることは、障がい者理解と障がい者競技スポーツの振興につながると考えるがどうか。

答 スポーツ施設のバリアフリー化として、現在、多目的トイレの設置などを順次進めているところである。引き続き、計画的な環境整備などを進め、障害者理解の促進と、さらには競技スポーツの推進にも努めていく。



福井運動広場の多目的トイレ（西福井三丁目）

会議録を閲覧できます

市議会では、本会議の会議録を定例会、臨時会ごとに発行しています。市役所南館1階の情報ルーム、各図書館で自由に閲覧できますので、ご利用ください。また、議会ホームページでもご覧いただけます。なお、6月定例会の会議録は、8月下旬に発行の予定です。
(<https://www.kensakusystem.jp/ibaraki-s/index.html>)



南館1階情報ルーム



スマートフォン等で読み取ることができます。



議会ホームページ

第4回定例会 一般会計補正 予算(第3号) 質疑



大阪維新の会
岩本 守



コロナ禍の生活困窮者への支援は

問 新型コロナウイルスの流行で、非正規労働者が深刻な打撃を受けており、生活保護申請に至らずとも、生活が苦しくなり、市に相談に来られる方が増えているのではなにかと思われるが、どんな相談が寄せられているのか。また、どのような対応をしているのか。

答 相談内容については、離職、休業などにより住居を失いそうなおこと、就労希望、貸付制度に関することが主である。就労自立支援や職業訓練制度、支援の窓口などの

一般会計補正予算(第3号)質疑を6月15日、16日の2日間にわたり行いました。主な質疑内容は次のとおりですが、誌面の都合上、質疑の一部しか掲載できません。詳しい内容は、南館1階情報ルーム及び各図書館に設置している会議録をご覧ください。また、市議会ホームページでもご覧いただけます。(いずれも8月下旬予定)



公明党
篠原 一代



ICTを活用した地域づくりを

情報提供のほか、ハローワークへの登録などの同行支援を行っている。また、月に1回、就労支援ナビゲーターが来庁し、就労希望者の相談を直接受けてもらっている。

問 コロナ禍において、自治会等の運営では総会や全体清掃の実施、回覧板などさまざまなことに苦慮したと聞く。そうした中、役員同士が会議や調整にSNSを活用するなどしているところもあった。

当面、このような状況が続くことが予想されるが、これを機に新たな地域活性化策としてICTを活用した地域コミュニティづくりを推進してはどうか。

答 一部の自治会においては、ホームページ等を立ち上げ、通知文等閲覧できるようにされており、市も要請があれば必要なデータを提供している。また、既に地域活動に関して情報発信している地域もあることから、今後さらにICTの活用ニーズが高まる可能性があることと認識しており、地域の実情を踏まえ、地域におけるICT活用を検討していく。



自由民主党・絆
滝ノ上 万記



救急病院誘致に係る検討状況は

問 救急病院の誘致については、令和元年度に庁内検討会議を3回開催し、現段階で想定される課題の共有や、誘致に当たり検討すべき事項の洗い出しを行ったとのことだが、その内容はどのようなものだったのか。

答 庁内検討会議では、誘致する病院の規模や機能、誘致の方法、交通環境の整理、財源の確保、

阪急茨木市駅東口エリア全体との関係性などの課題を共有している。今後も庁内において、課題の共有を図りながら、救急病院の誘致を進めていく。



会派に所属
しない議員
米川 勝利



1人1台端末に係る教育の方向性は

問 児童・生徒に1人1台タブレットPC等を整備するGIGAスクール構想(※1)に係る端末選定の検討状況はどうか。また、茨木つ子プランネクスト5.0では1人1台端末による学校での授業や家庭学習等の多様な学びを展開し、豊かな学びを実現するというビジョンが示されているようだが、小

(※1) : GIGA スクール構想: 義務教育を受ける児童・生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境等を整備する5年間の計画。

中学校別といった具体的な教育の方向性、目標が必要ではないか。

答 GIGAスクール構想に係る端末選定については、現在の本市の教育ネットワークの整備状況を踏まえ、子どもたちの学習スタイルに最も適したものの導入を考えている。茨木っ子プランで示すビジョンに加え、小学校の低、中、高学年、中学校それぞれの段階での具体的な教育の方向性や目標は必要であると考えている。




会派に所属
しない議員
小林 美智子



保育認定の就労要件見直しを

問 本市の保育認定就労要件は、長年の間、週の半分以上就労

で週4日、1日4時間以上となつていいる。しかし、この要件では、例えば週3日、1日6時間という方は、週当たりの就労時間はクリアしていても、就労日数が足らず、幼稚園預かり保育料無償化の対象外になるなどの課題が出てきている。本市の就労要件について、見直しが必要ではないか。

答 就労要件については、現在は週4日、1日4時間以上を要件の下限としているが、保護者の多様な働き方に柔軟に対応できるように、要件の見直しを検討していく。



日本共産党
大嶺 さやか

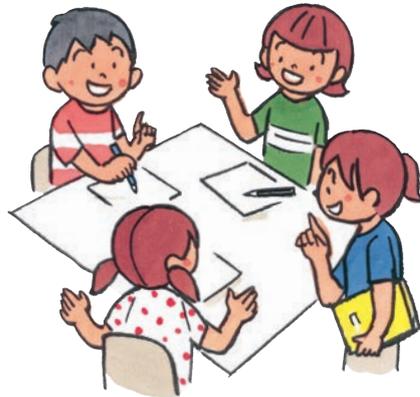


学校再開における子どもへの配慮は

問 学校再開に当たって、子どもたちの置かれている現状から出発し、遊びや休息をバランスよく配分するなど、柔軟な教育が必要と考える。柔軟な教育は学校現場の創意工夫を保障してこそ実施できる。具体的には学習内容の精選が必要と考えるがどうか。また、休校中に考えたこと等をクラスで話し合う時間も必要ではないか。

答 学習内容の精選については、文部科学省から、授業内外で

取り組む活動が例示されており、各学校でそれらを参考に、年間学習計画の作成を進める。また、長期にわ



たる休校中に児童・生徒が考えたことを授業の中で交流する時間と、一人ひとりの子どもが見せる言動等を見逃さず、丁寧に話を聞き、寄り添う時間の両方が必要と考えている。



公明党
大村 卓司



問 ICTに対応した教科書採択基準はオンライン授業等、通信環境を取り入れる授業展開において、教科書中の二次元コードは、英

次頁へつづく

**総額約 4.8 億円の
令和 2 年度補正予算を可決**

6月定例会で、令和2年度大阪府茨木市一般会計補正予算(第3号)を可決しました。歳入歳出の予算額に、それぞれ479,952千円を追加し、125,353,443千円となりました。

内容は以下のとおりです。

- ①救急病院の誘致
病院誘致に向けた基本整備構想の策定
.....18,150千円
- ②中学校給食基本計画の策定等
.....13,420千円
- ③安威川ダム周辺整備事業
..... 448,382千円

市議会
だより

前頁つづき

語や音楽等の授業を行う際の大きなツールになると考える。二次元コード等の無秩序な記載は望ましいものではないが、教科書を選択する際の基準として、以前から質疑しているカラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントに加え、二次元コードなどについてはどのように考えているのか。

答 教科書採択の基準として、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントなどのユニバーサルデザインや、二次元コードなどのICT化への対応についても、重要な観点の一つとして、総合的に判断していく。



市内飲食店応援の創意工夫を

問 広報誌で市内の全飲食店を紹介することは難しいと思うが、さらなる工夫は必要と考える。市職員が飲食店に行き、その情報を発信したり、市内大学とコラボレーションして、新型コロナウイルスの影響によりアルバイトをなくし、無収入になった学生に情報発信料やラン

手代を支払い、協力していただいたり、市民に全店舗の情報集約を委託することや、市のSNS等での情報発信など、方法はいくらでもあると考えるがどうか。

答 市内店舗を先払いや情報発信で応援する取り組み「さきめし茨木」や、職員がデリバリーメニューを注文する「職員デリバリーデー」の実施に加え、市内飲食店のテイクアウトメニューを食べた際に「#茨木を食べよう」を付けてSNSで発信するキャンペーン等に取り組んでいる。

問 コロナ禍における市民会館建設は 施策の優先順位として、市民の命と健康、暮らしを守るものが行政の使命であり、新型コロナウイルス感染症対策を最優先で、第2波、第3波が発生した場合等、市民会館の建設は延期するなど柔軟な姿勢も必要ではないか。また、建設事業を推進するのであれば、せめて寄附の目標額を設定すべきと考えるがどうか。

答 コロナ禍における市民会館建設への今後の影響については、第2波、第3波が発生することも踏まえ、長期化することにより収収が大きく減収となれば、寄附やネーミングライツなどの取りうる対応も出

新型コロナウイルス感染症対応関連の令和2年度補正予算を可決

6月定例会で、新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和2年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第2・4号）を可決しました。

令和2年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第2号）【1,022,604千円】

主な内容は以下のとおりです。

- | | |
|--|--------------------------------------|
| ①市民生活への支援 …………… 198,000千円 | ⑦子育て世帯への支援等 …………… 229,618千円 |
| ②医療体制の確保等 …………… 282,571千円 | ⑧地域活動・福祉活動への支援 ……17,664千円 |
| ③医療機関・障害・介護事業所の支援、感染
予防用品の購入等 …………… 131,661千円 | ⑨指定避難所における感染予防用品の充実
…………… 7,880千円 |
| ④事業者等の事業継続支援 …… 97,590千円 | ⑩スポーツ施設への感染防止対策 …19,000千円 |
| ⑤小中学校の学習支援等 …………… 53,471千円 | ⑪議員報酬の減額 …………… ▲ 30,000千円 |
| ⑥在宅での読書活動の支援 …… 9,952千円 | |

令和2年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第4号）【471,900千円】

内容は以下のとおりです。

- | |
|---|
| ①ひとり親世帯への臨時特別給付金の支給…………… 343,324千円 |
| ②公立保育所・幼稚園・学童保育室等における感染予防用品の購入……………44,500千円 |
| ③私立認定こども園等への感染予防用品の購入費等を補助……………66,500千円 |
| ④長期休業期間におけるスクールサポーター等の配置……………17,576千円 |



てくると考える。また、寄附は善意と捉えており目標額は設定していないが、ネーミングライツ等の取り組みをする場合は額の設定をして対応する。



自由民主党・絆
上田 光夫



マンション管理の情報格差是正を

問 大規模マンションの予算規模は数億円規模にもなるが、その事業推進において管理組合と業者間で圧倒的な情報格差がある。情報格差を是正するため、近隣マンションの情報等を市が取りまとめたり、築年数の近いマンションにおける管理組合間の交流を促すことは有効で

あると思うが、市の見解はどうか。管理組合の主体的な維持管理を推進するためには、有益な情報が手に入る環境が必要と考える。このため、大阪府分譲マンション管理・建替えサポートシステム推進協議会による支援が近隣や業者に関する情報を入手しやすい環境につながることから、周知を図る。交流については、管理組合間の情報共有を図るITmネットの活動を支援・周知するほか、マンション管理士による個別相談会において、情報発信に努める。



公明党
松本 泰典



病院誘致検討に必要な視点は

問 救急病院の誘致については、調査分析報告書で取りまとめた課題解決に資する視点が必要とのことだが、医師不足・診療科偏在の課題、また医療従事者の安定的な確保は、整備方針を実現する上で、特に重要だと考える。医療の質を確保するため、同じ医療圏内の医療機関との連携も重要な視点である。本市に必要な診療科等、医療機能の確保だけでなく、必要な診療機能を

安定的に維持できることも重要と考えるがどうか。病院の誘致に当たっては、地域や同じ二次医療圏内の医療機関との連携は不可欠であり、かつ将来にわたりその機能が維持されることが重要であることから、その視点を踏まえながら構想策定に取り組んでいく。



いばらぎ
未来の会
安孫子 浩子



夏季期間における教室の温度管理は

問 学校での授業が再開されたが、夏季の教室における温度管理について、新型コロナウイルス感染症防止対策中は、従来の管理方法とどのように違うのか。

答 エアコンの使用については、例年室温が28度を超えたとき、もしくは7月1日から開始する等を基本としている。現時点では、小中学校において、新型コロナウイルス感染予防対策として、マスクの着用や教室の換気が行われることから、例年以上に暑さ対策にも留意する必要がある。各学校の状況に応じて柔軟に使用し、換気中も常時運転を行うなど、児童・生徒の体調管理に努めていく。

子どもたちの学力保障を

問 オンライン学習後のフォローアップについて、特に家庭学習が難しい環境の子どもたちへの支援はどのように行うのか。また、学習・生活支援事業を行っているが、支援を必要とする子どもたちに対し、今後どのように支援を届けていくのか。

答 家庭学習が難しい子どもには個別指導やスクールサポートによる支援を行っている。今後、必要に応じて放課後学習会等を活用していく。また、学習・生活支援事業の対象となる子どもや保護者への情報提供と、丁寧な説明・勧奨が重要と考える。引き続き、関係部署と協力し、支援が必要な子どもへの起こしと積極的な働きかけを行う。



6月定例会議決結果

(○:賛成、×:反対、-:欠席)

件名	自由民主党・絆					公明党					大阪維新の会					いばらき未来の会		日本共産党		会派なし		所属議員		結果					
	福丸孝之	下野巖	上田光夫	上田嘉夫	滝ノ上芳記	大村卓司	青木順子	松本泰典	河本光宏	篠原一代	坂口康博	大野幾子	浜守毅	円藤しずえ	萩原佳	岩本守	長谷川浩	安孫子浩子	稲葉通宣	朝田充	大嶺さやか	畑中剛	桂睦子		小林美智子	米川勝利	塚理	辰見登	
人事案件	茨木市農業委員会委員任命につき同意を求めることについて【森善隆氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	同意	
	茨木市農業委員会委員任命につき同意を求めることについて【中野稔氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	同意	
	茨木市農業委員会委員任命につき同意を求めることについて【矢頭周氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	同意	
	茨木市農業委員会委員任命につき同意を求めることについて【宮本正裕氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	同意	
	茨木市農業委員会委員任命につき同意を求めることについて【大川智恵子氏】	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	同意	
条例	一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決	
	茨木市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決	
その他	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決	
	工事請負契約締結について(環境衛生センター基幹的設備改良工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決	
	工事請負契約の変更について(市道野々宮3号線橋梁下部工新設工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決	
	動産(消防ポンプ自動車)取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決	
	動産(救急自動車)取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	可決	
補正予算	令和2年度大阪府 <small>〔組み替え動議〕</small> 茨木市一般会計補正予算(第3号)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	否決	
	<small>〔原案〕</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	可決
	令和2年度大阪府茨木市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

- ◆議長(友次通憲議員)は採決に加わりません。
- ◆6月定例会の議案内容については、市役所南館1階情報ルームに設置している資料をご覧ください。なお、6月定例会市長提出案件の概要については、市議会ホームページをご覧ください。

可決された意見書

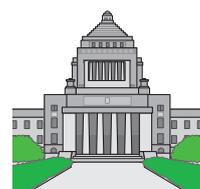
6月定例会で可決された意見書を関係機関に送付しました。

◎議員発第8号

中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書……【原案可決】

◎議員発第9号

選択的夫婦別姓制度の法制化に関する意見書……………【原案可決】



選挙管理委員会委員及び補充員決まる

6月9日の本会議において、茨木市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行い、下記のとおり決定しました。

【委員】 大根 輝男 氏 山本 隆俊 氏 角野 一雄 氏 中村 信彦 氏

【補充員】 澤田 徳次 氏 目野 徹 氏 大平 正雄 氏 田村 英明 氏

5月臨時会議決結果

令和2年第3回臨時会を5月8日に開催しました。

この臨時会では、市長から提出された議案や令和2年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第1号）等について審議しました。

（○：賛成、×：反対、退：退席）

会派・議員名	自由民主党・絆			公明党			大阪維新の会			いばらき未来の会		日本共産党		会派ない所属議員		結果												
	福丸孝之	下野巖	上田光夫	上田嘉夫	滝ノ上万記	大村卓司	青木順子	松本泰典	河本光宏	篠原一代	坂口康博	大野幾子	浜守毅	円藤こずえ	萩原佳守		岩本浩	長谷川浩	安孫子浩子	稲葉通宣	朝田充	大嶺さやか	畑中剛	桂睦子	小林美智子	米川勝利	塚理登	辰見登
議員提出	議会運営委員会の委員定数の変更について 特別委員会の委員定数の変更について		[一括採決]		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	茨木市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分	専決処分につき承認を求めることについて（令和元年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第5号））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	専決処分につき承認を求めることについて（茨木市国民健康保険条例の一部改正について）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件	茨木市副市長選任につき同意を求めることについて【河井豊氏】		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	退	○	○	○	○	○	同意
条例	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	茨木市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	令和2年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第1号）		[組み替え動議]		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	否決
	[原案]		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（友次通憲議員）は採決に加わりません。

市議会における新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症対策については、政府の緊急事態宣言も解除され、「新しい生活様式」が、私たちの暮らしの中に徐々に浸透しつつある状況です。一方で感染者は断続的に確認されており、第2波、第3波への備えが重要になってきました。本市議会でも新型コロナウイルス感染症に対しては、さまざまな対策をとり、感染拡大の防止に努めています。

茨木市議会災害対策会議の開催

4月8日付けで、災害時における議会の行動指針（令和元年8月策定）に基づく「茨木市議会災害対策会議」を設置しました。会議はこれまで※に4回開催し、新型コロナウイルス感染症に係る市議会としての対応について協議し、その方向性を決定してまいりました。

補正予算（コロナ対策関連予算）への対応

市のコロナ対策事業を速やかに実行し、いち早く市民生活に反映できるよう、コロナ対策に関連する補正予算議案については、委員会付託を省略し、即決で議決しました。当該議案に対する質疑についても、重複する質疑内容は事前に調整するなど、議事の効率化に努め、審議時間の短縮を図りました。

常任委員会における取り組み

本会議よりも出席人数が多くなり、3密状態となる常任委員会については、所管ごとに説明員（職員）が分かれて出席し、席の間隔をあけるなどの対応をしました。また、各委員の質疑時間については持ち時間を申し合わせ、審査時間の短縮に配慮しました。

議員への情報提供・情報共有

「市議会災害時情報伝達体制」に基づき、市で開催されている「茨木市新型コロナウイルス対策本部会議」の決定事項等を全議員にメール配信し、情報提供しました。また、各議員からの新型コロナウイルスに関する問い合わせを議会事務局で一元化し、その回答内容を全議員にメール配信し情報共有を図りました。その対応件数はこれまで※160件を超えます。

本会議における取り組み

茨木市議会災害対策会議の決定をもとに、議会運営委員会で本会議における対応を議論しました。議場内でのマスク着用や手指消毒の徹底を初め、議場に入らない場合は、モニターを見ることなどの対応をとることにより、出席議員・説明員（職員）の3密回避を図りました。また、傍聴に来られた方にもマスク着用や手指消毒のご協力をお願いするなど、議場での感染拡大防止に向けたさまざまな取り組みを行いました。



※茨木市議会災害対策会議の回数や情報提供・情報共有数は7月8日時点

全国市議会議長会表彰

令和2年5月27日に書面開催されました「全国市議会議長会第96回定期総会」において、市議会議員として長きにわたり、地方自治の発展と振興に貢献した功績により、5人の議員が表彰を受けました。



上田 嘉夫 議員
議員 15年



畑中 剛 議員
議員 15年



小林 美智子 議員
議員 15年



上田 光夫 議員
議員 15年



大野 幾子 議員
議員 15年